参考資料1

優先交渉権者の提案概要

1　事業の全体方針

戸田川緑地がこれまで育んできた豊かなつながり（人、自然、遊び、スポーツ）を大切にしながら、新たなつながり（学び、食、農、産業、地域）を重ねていきます。

『戸田川 CONNECT』をコンセプトに、利用者の興味や関わり方に応じて、「楽しむ」⇒「知る」⇒「体験する」⇒「交流する」⇒「地域とつながる」といった、関係性が段階的に深まる公園を目指します。

園内に多様なつながりをつくり、空間だけではなく、体験プログラム、地域連携、民間事業、情報発信を一体的に展開します。

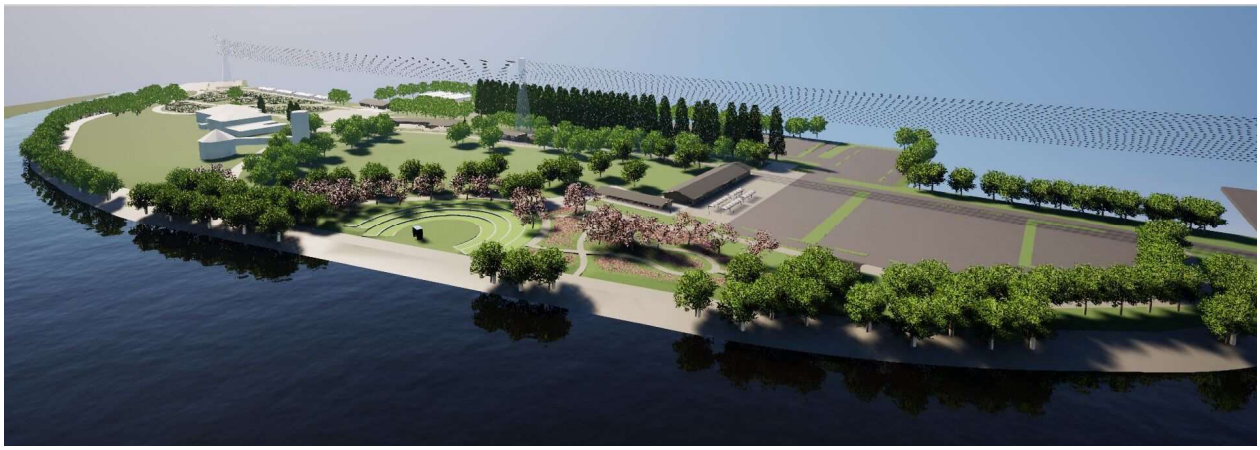
2　主な提案内容

整備	整備方針	整備コンセプト 「農・みどり・花が織りなす風景を舞台に、人・地域・未来をつなぐ」 ・農体験・教育の場や、農から食へつなぐ交流拠点を整備する。 ・戸田川緑地の既存資源を活かし、公園全体に一体感のある新たな景観を創出します。
	施設概要	農・みどり・花を活かした３つの景域で構成し、それぞれの景域をつなぐ拠点として、学び・食・交流・情報発信などの機能を担う建築施設を整備します。 農の景域には体験農園と温室を配置し、季節に応じた多様な農作物を栽培します。農業体験等のプログラムに活用することで、農・食・学び・産業につながる実践的なフィールドとします。 売店施設と飲食施設を一体的に整備し、デイキャンプ施設も併設することで利用者の利便性を高め、食と交流の拠点とします。 自主事業の任意提案として、カフェ＆レストランを設置し、公園で過ごす時間の質を高めます。
指定管理		公共施設としての安全性、公平性、快適性を適切に確保した上で、計画的に施設の運営・維持管理を行います。地域の農を知り、学び、応援するファンを増やす、農を体感できる取組みを実施します。 ・体験農園、温室にて一年を通した収穫体験や教育プログラムの実施 ・生産者が直接対面で販売する「朝採れ野菜マルシェ」などを実施し、農家と来園者をつなぐ場を創出。また、自然とふれあい、学び、元気になる、自然を体感できる場を提供します。 ・緑地の多様な環境にて、季節のビオトープ＆生き物調査隊の実施 ・ナチュラルガーデンを設置し、落ち着いた雰囲気を創出

３　整備イメージ

イメージ図は優先交渉権者の提案に基づく現時点でのイメージであり、今後の協議等により変更される場合があります。

○ 西側鳥瞰



○ 農の広場（体験農園）



○ マルシェ棟、もぎたて BBQ（売店施設、飲食施設、デイキャンプ施設）



○ もぎたて BBQ（デイキャンプ施設）内観



○ カフェ＆レストラン（任意提案施設）

